



3年 池田 唯さん

学校だより

お つ ひ



半田市立乙川東小学校
第9号
平成29年12月1日
発行責任者：真山 恵

校訓 「たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう」

2学期の成果をまとめ、希望を胸に次の年へ！

いよいよ師走となりました。2学期にがんばったことや成長したことを振り返り、まとめる時期を迎えました。ただ、学校では今も様々な挑戦が続いています。

たとえば、12月22日に予定されているごんごん駅伝大会に向けて、早朝から顔を真っ赤に染めながら4年生以上の子らが一生懸命走っています。大放課にも、全校で運動場を元気に走り、たくましい体づくりに励んでいます。

また、11月後半から図書館まつりを行い、ペア学年で読み聞かせをしたり、「先生のおすすめする本」を読んだりして、多読賞を目指して全校で本に親しんでいます。

2学期終了前には、「漢字・計算がんばり大会」を行い、全員合格を目指します。

このようにどんなことでも目標に向かって一生懸命になることで、どの子も力を伸ばすことができます。ゴールまで手を抜かずがんばりきらせることで、子どもたちは達成感を感じ、さらに高い目標へと向かうことができるのだと思います。子どもたちのさまざまな挑戦に、最後まで温かい目と声で、応援していただきますよう、今後ともよろしくお願いします。



FBC (フラワー・ブラボー・コンクール)

今年度は、「日本植物園協会賞」を受賞することができました。11月17日に県庁で行われた表彰式で、緑化委員長の6年生間瀬環さんと、絵画の部で「愛知県教育委員会賞」を受賞した6年生間瀬琴美さんが、それぞれ賞状や盾などを受け取りました。夏の暑い間

水かけに多くの皆様に御協力いただいたおかげです。本当にありがとうございました。



人権週間

毎年12月4日～10日は人権週間です。「人権」とは、一人一人が生まれたときから持っている「自分らしく生きる権利」です。一人一人が自分や相手のよさを知り、相手の気持ちを考えたり違いを認め合ったりしながら大切にしよう関係をつくっていくことが、誰もが「自分らしく生きられる」社会を築く力になります。

本校でも、朝礼で人権に関する講話をしたり、各学級でさまざまな「人権」を取り上げた道德の授業を行ったりします。

ご家庭でも、この機会にお子さんと「人と人が仲良く認め合って生きるために大切なことはどんなことか」親子で話題にしていればと思います。

毎年12月4日～10日は人権週間です。「人権」とは、一人一人が生まれたときから持っている「自分らしく生きる権利」です。一人一人が自分や相手のよさを知り、相手の気持ちを考えたり違いを認め合ったりしながら大切にしよう関係をつくっていくことが、誰もが「自分らしく生きられる」社会を築く力になります。

みんなで築こう 人権の世紀
考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認め合う心

12月10日は
人権デーです。

第69回
人権週間 12月4日～10日

法務局では、人権侵害による被害を受けた方を救済するための活動を行っています。お気軽にご相談ください。

みんなの人権 110番 0570-003-110
子どもの人権 110番 0120-007-110
女性の人権ホットライン 0570-070-810

<http://www.jinken.go.jp/>



11月15日に、合唱作曲家の弓削田健介さんを招いて「いのちと夢のコンサート」を開くことができました。このコンサートを開くために、PTA 会長様をはじめ PTA 役員の皆様に大変お世話になりました。さらに、大池・平地・花前・向山・新居の各地区から多大なるご寄付をいただきました。おかげさまで、子どもたちにとって貴重な感動体験となりました。御協力いただきました皆様に、心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

ゆげ た けんすけ 「弓削田健介さんへのメッセージ」紹介



■ゆげたさん、すてきなえんそうとうたをありがとうございます。「いただきます」がわたしは好きです。おどりもあってかわいいとおもいます。ほかのきょくも大好きです。じぶんの名まえをよんでくれた人は、かぞくみんなでした。（1年生）

■すてきなえんそうをきかせていただき、とってもかんどうしました。目をとじたらおばあちゃんやおじいちゃん、いろんな人の声がたくさん出てきました。わたしはすごくげん気が出ました。（2年生）

■とても美しい声、かんどうしました。いのちの大切さ、美しさがとても分かりました。弓削田さんの作曲された曲には、いのちがやどっているようでした。わたしは弓削田さんがいつてくださった「歌には伝えたいことがこめられている」をさがして楽しく歌っていきたいです。（3年生）

■ぼくが一番好きなのは、「手をつなごう」です。とてもいい歌です。コンサートを通してたくさんのゆめを弓削田さんがつなごうとする気持ちが分かりました。（4年生）

■印象に残ったことは、目をつぶって自分の名前を言うことです。私はいつもお母さんやお父さん、おばあちゃんにめいわくをかけてしまっています。そのみんなから自分の名前をよばれて、自分の名前の大切さと「いつもありがとう」という気持ちが出てきました。それと命の大切さを改めて感じました。いろいろな食べ物には命があり、私たちはその命をいただいて育っていくことを感じました。（5年生）

■いのちと夢のコンサートをかいさいしていただき、ありがとうございました。このコンサートで、ぼくは自分の名前を考えてくれたお母さん、お父さんに感謝したいなと思いました。そして自分の夢に向かってつき進んでいくことにしました。弓削田さんのおかげでぼくはいろいろ学ぶことができました。（5年生）

■言葉にできないほど感動した。心の中に弓削田さんの曲がひびいてきた。今、生きることの喜びや楽しさ、幸せに改めて気づいたし、弓削田さんが音楽（歌）を通して伝えたかったであろうメッセージも伝わってきた。弓削田さんの曲は、だれの心にもひびいて色々な人に夢や希望を伝えるための「虹色のかけ橋」になっていると思う。（6年生）

■弓削田さんはいのちによって歌を作り、夢によっていろんな世界の歌に入っていく。こんなことをみんなに伝えたいと思っている。だから呼ばれたら行く。ぼくもそんな大人になりたいと思った。自分の名前を呼んで自分の親のことを考え直してみたら、涙が出てきた。障がいのある方やもう残りの命が短い人たちに生きる希望をもう一度思い出させることができるのは、とても心がこもっているからできたんだなあと考えた。（6年生）



■素敵な歌声とメッセージに心が洗われました。子どもたちにもこのようなコンサートを聞かせてあげられてとってもよかったです。（地域・PTAの皆さま）

■名前のことを考えながら歌を聴いていると、亡き父のことを思い出しました。また、子どもに名前をつける時のこと、名前をつけて呼んだ時のことを思い出しました。（地域・PTAの皆さま）